

第1学年 国語科改善学習指導案

公開授業2

授業者 関向 恵美

1 単元名 学校で見つけたものを紹介しよう

学習材名 「しらせたいな、見せたいな」(光村図書1年下)

2 単元について

(1) 学習者について

児童は、1学年「おおきくなった」において、観察したことを基に、一つの観点毎に一語～一文で説明し、それらを並べてつながりのある文にする学習をしてきた。「こんなことしたよ」では、身近なことや体験したことを、語と語のつながりに気をつけて、二文から三文で表すことを学習してきた。

児童は、毎日の朝の会のスピーチなど、話すことには抵抗が低く、自分が思ったことを文章に書き表せる児童も増えてきている。しかし、促音や拗音などを正しく書き表したり、助詞を適切に使ったりすることがしっかり身につけていないため、相手に正しく自分の思いを文章で伝えきれないことも多い。そのため、週末毎に絵日記に取り組みせたり、習った文字を使って言葉を作りノートに書いたり、句読点に着目して読み直す機会を増やしたりしてきた。

(2) 学習材について

本単元では、「書きたいことをはっきりさせ、くわしく観察して発見したことの中から、園の先生がびっくりすると思うことを紹介する文を書く」言語活動を通して、発見したことを基に、知らせたいことが伝わるような文を書く資質・能力を育てていく。

学習材「しらせたいな、見せたいな」は、前学習材「おおきくなった」で身につけた、観察した事柄を観点ごとに文にする力をいかし、対象をより詳しく観察し、的確な言葉で表して文にし、文のつながりに気をつけて文章にする力を付ける。また、「主語と述語の関係」「句読点」「正しい文字表記」の観点で自分の書いた文章を推敲し、友達と交流することで視野を広げ、ここでの学習を「いいこといっぱい一年生」へとつなげる。

(3) 指導に当たって

第1次では「つかむ」段階として、水沢南小学校の特別教室や体育館、校庭、ビオトープ等について説明する文章を書き、園の先生に伝えたい気持ちをもたせる。教師作成の紹介文を提示し、「園の先生に小学校での自分だけの発見を詳しく知らせる」という単元のゴールをイメージさせることで学習への意欲を高めさせ、最終目標に向けて、学習課題を立てていきたい。

第2次では「きく・あらわす」段階として、説明文を書く目的や相手を確認し、どんな観点で観察したらいいか話し合う。そこで出された観点を基に対象の観察を行う。**（どうしても相手に伝えたいことであれば、観点がない「様子」についても書いてもいい。）**必要に応じてメモをとったり絵を描かせたりしたい。その発見メモをもとに短冊カードを書く。短冊カードは対象物を主語にして文で表す。次に短冊カードの順番を考え、それを基に文章を書く。

第3次では「いかす」段階として、紹介文を読み合い、感想を伝える活動を行う。自分とは違う観点で書き表している書き方や、書き方の違いに気づき、幼稚園・保育園との交流に生かしていきたい。また、学級全員の文章を出身園に送り見ていただき、いろいろな観点から観察することで様子を詳しく伝えられることに喜びを感じさせたい。

3 単元の指導目標と評価規準

	指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○発見したことを説明する文章を書くことに興味をもち、進んで観察し書くことができる。	・発見したことを説明する文章を書くことに興味をもち、進んで紹介文を書こうとしている。
書く能力	◎学校にあるものから書くことを決め、題材に必要な事柄を集めることができる。 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文を書くことができる。	・知らせたいものをよく観察し、特徴を短い言葉で書き込んでいる。【(1) ア】 ・観察したことを基に、伝えたいことが伝わるように内容のまとまりに気をつけて文を書いている。【(1) ウ】
言語に関する知識・理解・技能	○主語と述語の関係に注意し、句読点や助詞を正しく用いて書くことができる。	・主述の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。【イ (オ) (カ)】

4 本単元に係る資質・能力の系統性

<p>【身につけている資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点ごとに取材する。 ・一つの観点毎に一語～一文で説明する文を書く。 <p>「おおきくなった」</p>	<p>【育てたい資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で観点を決めて取材する。 ・発見したことを基に、知らせたいことが伝わるような文を書く。 <p>本単元 「知らせたいな、見せたいな」</p>	<p>【次に学ぶ資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材に必要な事柄を集める。 ・事柄の順序を考えて書く。 <p>「いいこといっぱい、一年生」</p>
--	---	--

5 学習指導計画（全8時間）

指導過程	主な学習活動	【評価規準】 (評価方法)
<p>第1次 学校探検の様子を思い出したり、園の先生に知らせたいものを考えたりし、学習の見通しをもつ。(1時間)</p>	<p>① 単元のゴールをイメージさせ、学習への意欲と見通しをもたせる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見したことを知らせる文を園の先生へ送ることに意欲をもち、何を伝えるか思いを膨らませ、見通しをもっている。(ノート・発言)
<p>第2次 紹介文の書き方を知り、読み手に伝わるよう、観察したことを的確な観点で表す。(6時間)</p>	<p>② 園の先生に知らせたい場所を決め、よく観察し、メモをする。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせたいものについて観察する観点を考え、メモしている。(話し合い・観察)
	<p>③ 描いた絵から線を引き出し、観察して見つけたことを書き込む。</p> <p style="text-align: center;">本当に知らせたいことであれば「観点」にとらわれる必要はない。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせたいことを観点を手がかりにしながら短い言葉で書き表している。(観察メモ)
	<p>④ 発見メモから文を作るにはどうすればいいか話し合う。 書き出しを書く。</p> <p style="text-align: center;">発見メモの「様子」を文にするにはどうしたらかについても話し合う。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見メモを基に、様子が分かる文にすることを理解している。(ワークシート)
	<p>⑤ ⑥ 発見メモを文にして短冊カードに書く。(4組本時)</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見メモを基に、伝えたいことが伝わるように文に書いている。(短冊カード)
<p>⑦ 文章を読み返し、必要に応じて直す。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を、句読点や文字に気をつけて読み返し、間違いを直している。(ワークシート) 	

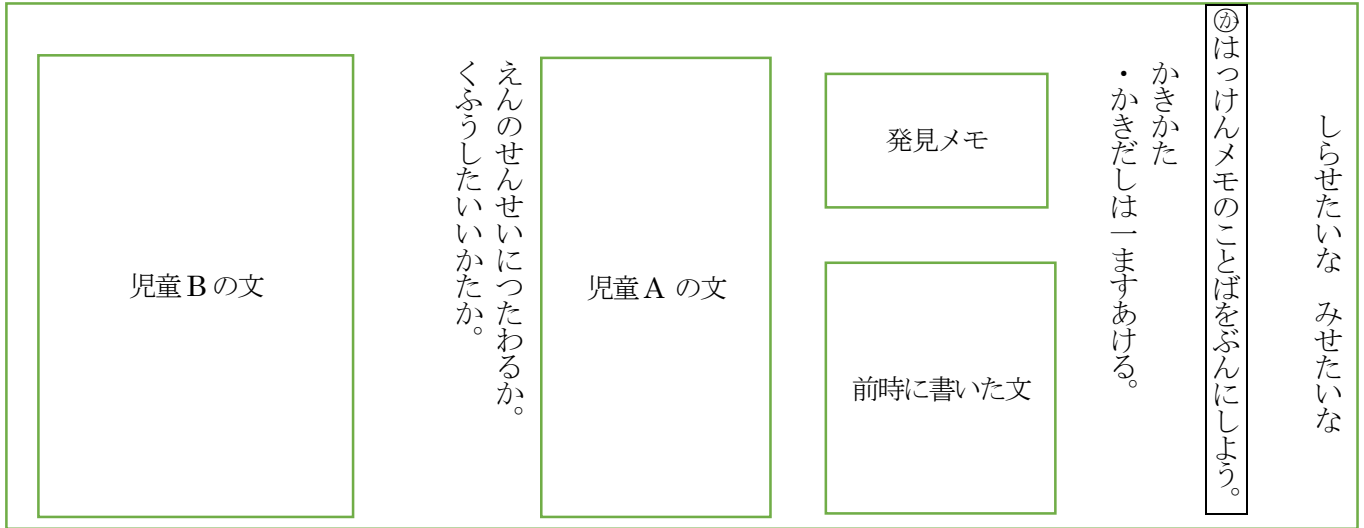
		【言】 ・主述の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。
第3次 完成した文章を読み合い、交流する。 (1時間)	⑧ 書いた文章を友達と読み合い、よいところを伝え合う。 交流を踏まえて学習感想を書く。	【関】 ・書いたものを読み合い、友達の文章のよいところを相手に伝えている。(観察)

6 本時の学習指導 (5/8) 公開授業 2

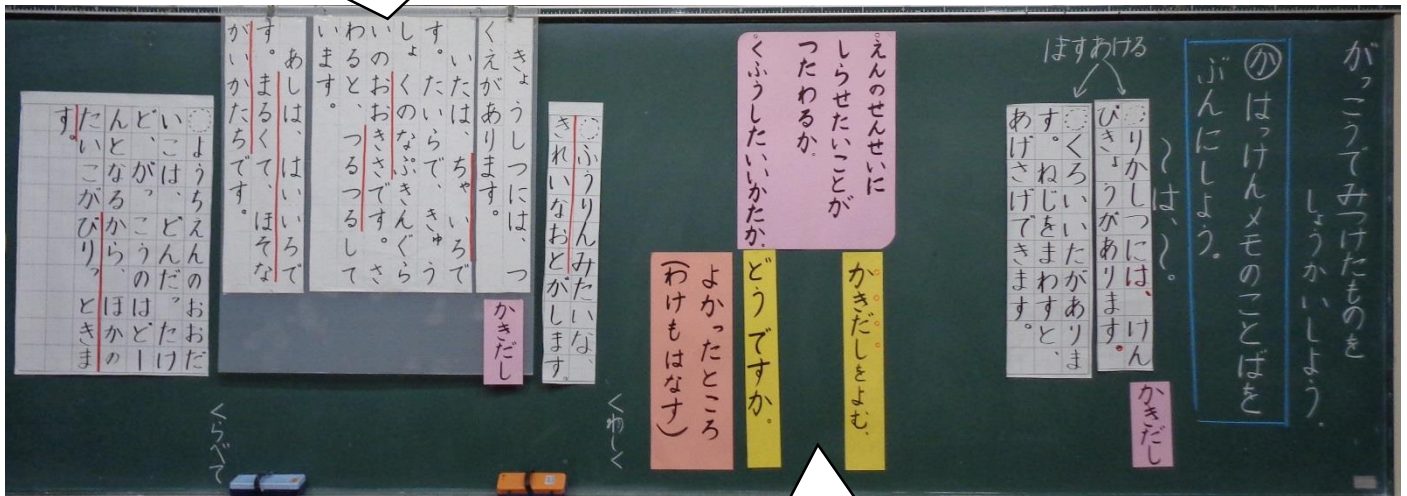
(1) 目標 どのように文にするのか話し合ったことをもとに、発見メモから文に書くことができる。

(2) 展開

	学習活動	学習内容	具体的な手立て	〈評価 ・準備物
つかむ	1 前時を想起する。		つかむ ・前時までの学習を振り返り、本時の学習を確認する。	・単元の見直し 掲示
	2 課題を把握する。			
	はっけんメモのこぼをぶんにしよう。			
きく・あらわす	・見通しをもつ。 ・発見メモをもとに文を書く方法を確かめる。	○メモから文にする仕方 ・知らせたいことは何かははっきりする。 ・「ーは、ーです。」	きく・あらわす ・前時の学習の掲示を基に、発見メモから文を作るにはどうしたらいいか確認する。	・発見メモ ・前時の掲示
	3 課題を解決する。 ・発見メモをもとに文でグループの人に伝える。 ・紹介文を全体で交流する。 ・発見メモをもとに短冊カードに文を書く。	○表現の比較 ・伝えたいことが伝わる内容の妥当性 ・表現の工夫	・紹介文を口頭で紹介し合い、お互いによいところを伝え合う。 ・全体交流を参考に自分の紹介したいものを短冊カードに記入し文を書かせる。 ・園の先生に伝えたいことは何か、様子が分かる表現になっているか	
いかす	4 振り返る。 ・次時以降の学習を確認する。		いかす ・本時の学習で友達から学んだことや友達の発言や短冊カードで気づいたことを発表させる。	



モデル文を貼って、全体の文量を意識させる。
→長い文なら2文、短い文なら3～4文書けることを全体で確認。



グループ学習の進め方を掲示